

利根中央病院を受診された患者様へ

当院では下記臨床研究を実施しております。本研究対象者に該当する可能性のある方で、自身の診療情報を提供することを希望されない方は、「不同意書」の提出をお願いします。
※「不同意書」は病院 1 階 総合支援センターにあります。

研究名	回復期リハビリテーション病棟入棟後の疼痛経過と 3 週時の疼痛の有無が及ぼす影響
承認番号	臨研倫審 2025 年度-9
当院における 研究責任者	リハビリテーション室 理学療法士 清水杏菜
他施設における 研究責任者	-
研究目的	整形外科疾患では受傷や手術侵襲による疼痛が持続し、疼痛の残存がリハビリテーションの進行に影響を及ぼすことで退院後の日常生活動作獲得の阻害因子となる可能性があると考えられている。そこで回復期リハビリテーション病棟入棟後の疼痛経過を明らかにし、3 週疼痛時の有無で退院時の FIM に差があるかを検討する。
研究期間	2025 年 7 月 28 日 ～ 2025 年 12 月 31 日
研究対象となる方	整形外科疾患の診断を受け、当院回復期リハビリテーション病棟に 2024 年 8 月から 2025 年 3 月までに入棟した方。非荷重・部分荷重期間のある方は除外する。
研究方法	調査項目は、基本情報として年齢、性別、在院日数、退院先、回復期経過日数と FIM(入/退棟時合計点、FIM 利得/効率)を後方視的に電子カルテから収集。機能面は 10m 歩行試験、フレイル CS10 にて測定。痛みは定期的な NRS と破局的思考をアンケートにて調査。また、意識調査としてバイタリティインデックスを評価。
他施設への試料及び 情報提供の有無	なし
個人情報の取扱い	個人を特定可能な情報は扱わない。
利益相反の有無	なし
(お問い合わせ先)	TEL : 0278-22-4321